

2018/12

リサーチ

No.129

通巻
186

平成30年12月20日

発行者
北海道公民館協会
会長 川上 満
〒060-0002 札幌市中央区北2西7
かでの2・7 (9F)
道立生涯学習推進センター内
011 (271) 2825

平成最後の年を振り返って



北海道公民館協会 会長 川上 満

平成最後の年もあと僅かとなりましたが今年は、自然災害の多い年でありました。この一年を振り返りますと七月十一日、公民館協会が主催する首長部会研修会のあと、北海道公民館振興首長会の設立総会が開催され全会一致で設立されました。人口減少等により将来は町が半減すると予測される中で全道の自治体と連携し活き活きとした町づくりを指そうとスタートできました。



また、十月十一日から十二日の二日間、第六十二回北海道公民館大会inなよろが名寄市民文化センターで盛大に開催され「地方創生の実現を目指す公民館活動とは」を研修テーマ

マに研究集会が行われました。特に地元の高校生も参加され学校だけの学びでなく地域での学びを体験し積極的なご意見もいただきました。これも、名寄市をはじめ公民館協会上川支部の皆様のご協力の賜物と感謝を申し上げます。



さて平成二十三年三月十一日東日本大震災から七年が経過し確実な復旧に目を見張るものがあります。

しかし、今年には北海道胆振東部地震が発生し、早三か月が経過しました。胆振東部では最大震度七を観測し、多くの方々の尊い命が犠牲になりました。現場一帯が脆弱な火山灰や軽石地層だったため、山が一気に

崩れ落ちました。余震も少なくなつたとはいえ、冬場を迎え引き続き警戒していかなければなりません。被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

また、公民館協会としても義援金を募りましたところ多くの義援金が集まり、それぞれの自治体にお配りさせて頂きました。

多くの方々から温かいお言葉とご支援を賜りましたこと、心から感謝とお礼を申し上げます。

予測できないほどの大きな地震を体験しましたが、これらの貴重な経験を通じて得たものは、どんな困難に遭っても声を掛け合い、いたわり合い、助け合い、支え合う事のできる地域づくりの大切さを改めて痛感したところです。

そこに求められる公民館の役割は益々大きくなっています。

さて、平成三十一年は北海道公民館創設以来、七十周年の節目を迎えます。

その記念事業に向けて本年度実行委員会を立ち上げ検討しているところです。成功させるためにも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びになりますが、今年も当協会の役員をはじめ会員市町村の皆様など多くのご協力のもとに、予定していた事業も大きな成果をあげて終了できましたことに厚くお礼を申し上げます。

新しい年も皆様の限らないご発展とご活躍をお祈り申し上げます。挨拶といたします。

北海道公民館振興首長会
設立に寄せて

東神楽町長

山本 進



平成三十年七月
十一日、札幌市で
開催された北海道
公民館協会市町村

長等研修会の後、公民館振興首長会の総会が行われ、初代の会長宜宜に就任させていただきました。この会は、公民館振興に理解のある北海道内の自治体首長が集い、輪を広げて、全国の先進事例等について情報交換を行う政策研究会を開催し、新たなプロジェクトの実施に向けて協議・協力し合うとともに、国や北海道に対して今後の進むべき政策のあり方について提言を行い、各市町村の持続可能な地域づくりに取組んでいくとするものです。今、公民館は大きな岐路を迎えています。

今年十一月一日に東京日本青年館で行われた第四十回全国公民館研究会集会東京大会で「公民館はどう「語られて」きたのか？戦後七十年の議論から考える公民館のこれから」という小冊子が配布されました。これは、戦後の公民館の発展と時宜二より議論されてきた「公民館のあり方」について、歴史的な検証とともに今後の公民館のあり方を問い直すし

りようです。戦後すぐの寺中構想以降、全国各地に整備され、発展してきた公民館が、その後の大きく変貌する地域の実情や社会の変化に対して、いかに対応していったのか、公民館の「あるべき姿」と三次にわたり発表されてきた内容と経緯を記し、今後の方向性について検討したもので、大変参考になります。その中にも記載されている一九四六年の文部次官通牒（寺中構想）では、公民館について次のように記されています。

「公民館は全国の各町村に設置され、此処に常時に町村民が打ち集まって談論し読書し、生活上産業上の指導を受けお互いの交友を深める場所である。それは謂はゞ郷土に於ける公民学校、図書館、博物館公会堂、町村集会所、産業指導書などの機能を兼ねた文化教養の期間である。それは、亦青年団婦人会などの町村に於ける文化団体の本部ともなり、各団体が相提携して町村振興の底力を生み出す場所でもある。

この施設は上からの命令で設置されるのではなく、真に町村民の自主的な要望と努力によって設置せられた。町村自身の創意と財力とによって維持されてゆくことが理想である。」この思想が戦後復興に立ち向かう地域の大きな礎となり、公民館が地域で受け入れられ、発展してきました。しかし、その後の社会

教育法の制定とそれに伴って進められた文部省による制度改正、行政の縦割り分化により、公民館が教育委員会会の所管となつて首長部局から隔離され、コミュニティ組織、社会教育の実践の場所から個人を主体とする生涯学習をする場所、ともすれば単なる貸し館、あるいはカルチャークラブの公設版のように扱われ、社会教育不要論も言われるようになってきました。

今、平成の大合併を経て、全国的には自治体の数が減少して一つの自治体の規模が大きくなる中、住民自治の基礎となるのは各小学校単位のコミュニティ組織という考えが進んできています。先日小規模多機能自治会を掲げ、公民館を廃止し、市民センターとして再構築した三重県名張市を視察してきました。名張市では、地域コミュニティ組織を区・自治会である「基礎コミュニティ」とそれを包含する小学校区を単位とする「地域づくり組織」に整理し、地域づくり組織に指定管理を委託していた公民館を市民センター化して生涯学習・地域福祉に活動の拠点として整備しています。社会教育法で制約を受ける公民館より、より自由度の高い制度を構築した先進的な事例でもあります。また、公民館という言葉を使っていますが、自治公民館として発展してきた宮崎県綾町、やね

だん地区（鹿児島県鹿屋市串良町柳谷集落）なども社会教育法の枠を飛び越えて発展してきています。どちらにしても、地域コミュニティ組織は、社会教育法の枠にとらわれず、総合的かつ多様なものであり、その中で公民館という組織は今後いかにどうしていくかが問われていくことになりました。名張市のように公民館を廃止して市民センター化し、新しい住民組織を整備することも一つの方向だと思えます。

しかし、今まで地域の中で発展してきた公民館という組織を住民コミュニティ組織として新たに見つめ直し、社会教育を横串にして総合的に地域住民のための機能をとらえ、地域の社交娯楽、自治振興、産業振興、青年養成などの寺中構想にあるような機能に加え、現代の少子高齢化社会に対応した地域福祉、子育て支援、治安機能なども包含させ、次世代の育成を図っていくことも必要ではないかと考えています。

教育委員会のみならず首長も公民館振興発展させていくために協働して行う役割を果たしていかなければならぬと考えており、賛同いただける自治体とともに、改めて公民館のあるべき姿を考え、行動していくうと思っております。

「公民館への大きな期待」

公益社団法人全国公民館連合会

会長 石川 正 夫



北海道のみならず
 ほんにちは！
 はじめに「平成

三十年北海道胆振
 東部地震」により

被災された皆様に、心からお見舞い
 申し上げます。また、多くの命が失
 われたことに哀悼を表します。
 公民館も被害を受けました。一日も
 早い復旧復興をお祈りいたします。

また、被災を受けて北海道公民館
 協会が義援金の受付を開始しました。
 協会のリーダーシップを発揮した行
 動に敬意を表すとともに、協力して
 いただいたみなさまに全国組織とし
 て感謝を申し上げます。

今年の十一月一日から二日間、
 「第四十回全国公民館研究会東京
 大会」を開催しました。当日は千四
 百人を超えるみなさまにお越しいた
 だきました。おかげさまで大きなト
 ラブルもなく成功させることができ
 ました。北海道からも多くのみなさ
 まに参加をしていただきました。本
 当にありがとうございます。大会
 ではジャーナリストの池上彰さんを
 迎え、フリーアナウンサーであり、
 本連合会の村松真貴子理事の進行で
 文部科学省の塩見みづ枝さん、教育

支援協会の吉田博彦さん、東京大学
 の牧野篤さんを加えてディスカッ
 ションを行いました。さらに北海道、
 島根県、沖縄県と会場ステイジをイ
 ンターネットで繋いでディスカッ
 ションをしました。詳しくは月刊公
 民館の一月号と二月号で報告いたし
 ます。

今年の全国公民館研究会は東京
 開催となりましたが、来年は七ヶ所
 開催に戻ります。北海道札幌市、岩
 手県盛岡市、栃木県宇都宮市、愛知
 県刈谷市、奈良県奈良市、徳島県徳
 島市、佐賀県佐賀市です。各大会の
 詳細はウェブサイトなどで順次お知
 らせてまいります。特に北海道大
 会は記念開催になることで、す
 でに熱意が伝わってきています。こ
 の原稿を提出した直後に第一回実行
 委員会が開催されると聞いておりま
 す。出席する本連合会の事務局長の
 報告を楽しみに待ちたいと思います。



さて、春先から文部科学省では公
 民館の所管を教育委員会の方に留め

るか否かの議論を中央教育審議会に
 設置したワーキンググループで検討
 してきました。答申がまもなく出さ
 れる予定ですが、公民館自体はどの
 所管になろうとも課せられた責務に
 変更があるわけではありません。今
 年の全国公民館研究会でお配りし
 た小冊子「公民館は、どう「語られ
 て」きたのか？戦後七十年の議論か
 ら考える公民館のこれから」でま
 めましたが、公民館の所管が変わ
 るが、コミュニティセンターに移行
 されようが、公民館そのものが廃止
 されようが、地域で人々が生活して
 いくことに変わりはありません。行
 政として地域社会をどう維持してい
 くかを考えれば社会教育の着実な遂
 行は避けては通れません。全国公民
 館研究会でも高校生のみなさんが
 地域の課題に向き合う姿をみるこ
 とができました。その真摯な姿を見て、
 わが町でも若者の参画を積極的に進
 めていきたいとの連絡がありました。
 これは高校生の真っ直ぐな目が「大
 人を動かした瞬間」を目の当たりに
 した気がします。(小冊子「公民館
 は、どう「語られて」きたのか？戦
 後七十年の議論から考える公民館の
 これから」は本連合会ウェブサイト
 で公開されています)そのような中
 で、昨年から社会教育業界を騒がせ
 てきた文部科学省の組織再編によつ
 て「生涯学習政策局」が「総合教育
 政策局」への変更が完了しました。

これから文字通り総合的な教育政策
 を文部科学行政として推進していく
 ことを期待しています。社会教育課
 は廃止されましたが、社会教育が教
 育行政の一丁目一番地であることに
 変わりはありません。新しいポスト
 である「社会教育振興総括官」への
 期待が大きくなります。複数の省庁
 で推進している「小さな拠点・地域
 運営組織」のホームページが内閣府
 に設置されています。そこに国で作
 成された手引集の紹介があり(※)
[https://www.cao.go.jp/regional-
 management/case/index.html](https://www.cao.go.jp/regional-management/case/index.html)
 「内閣府・内閣官房」、「総務省」、
 「農林水産省」、「国土交通省」と並
 んでいます。実際に公民館を拠点と
 して、組織づくりが進んでいるとこ
 ろもある事実がありますので、ここ
 に「文部科学省」が追加されるのは
 遠い未来のことではないと信じてい
 ます。

最後にみなさまにお願いです。本
 連合会では五年に一度の間隔で公民
 館についての全国調査を実施してい
 ます。年明け後の一月から三月頃に
 調査を開始いたします。お手元に調
 査票が届きましたら、ご多用のここ
 ろ恐れ入りますが、ご協力をいただ
 きたくお願い申し上げます。年の瀬
 を迎え、慌ただしい日々となります
 が、体をご自愛いただき、良いお年
 をお迎えください。

事務局より

平成三十年九月五日に北海道を揺るがす胆振東部地震が発生いたしました。北海道全体がブラックアウトになり暗闇の中の生活が二日、三日続き交通もマヒ状態、被災地では亡くなられた方もいて悲しみの中で住民の皆様が力を合わせ頑張っております。道内外からの応援ボランティアの方々、災害の少なかった市町村の職員方々が被災地へと応援に駆けつけて下さいました。

本協会では直接の応援ではなく、声かけをさせていただきました。義援金を公民館の皆様や地域の皆様に少しでも届けたいと役員一同、道教委の社会教育の仲間と共にご協力をいただきました。

左記の名簿はご協力をいただきました方々です。

- 特定非営利活動法人教育支援協会
- 代表理事 吉田博彦様 十万円
- 北海道生涯学習協会様 一万円
- 北海道女性団体連絡協議会様 一万円
- 富良野市中央公民館様 二万円
- 東京大学大学院教育学研究科 教授 牧野 篤様 一万円
- 群馬県前橋市上川淵公民館様 一万二千元
- 北海道教育委員会 生涯学習課・生涯学習センター 一同様 一万五千元

- 高校局長 岸 小夜子様 一万円
- 義務教育課一同様 三千八百円
- 総務課一同様 三万五千元
- 政策課一同様 四千四百円
- 高校課一同様 九千元
- 北海学園大学社会教育の会様 三千元
- 北海学園大学 教授 内田和浩様 一万円
- 北星学園大学 教授 河野和枝様 五千元
- 北翔大学 非常勤講師 谷川松芳様 五千元
- 北海道公民館協会 釧根支部一同様 十万六千八百円
- 釧路支部一同様 二万円
- 胆振支部一同様 一万円
- 占冠村公民館一同様 一万円
- 浦幌町中央公民館一同様 一万五千元
- 十勝支部一同様 千四百円
- なよろ大会一同様 二千六百元
- 旭川市公民館事業課様 三千七百元
- 北海道生涯学習協会 竹山 尚子様 一万円
- 賛助会員 杉本 昭則様 三千元
- 富良野市教育委員会山本様 五千元
- 札幌市手稲東小学校六年 鈴木 りゆ様 千円
- 札幌市手稲東中学校二年 鈴木 菜友様 二千元
- 北洋銀行 松岡 喜代美様 千円
- 北海道公民館協会 成田みえ 一万円
- 北海道公民館協会 一万円

- 倶知安羊蹄太鼓保存会様 一万一千円
- 斜里町公民館ゆめホール知床様 一万五千元
- 埼玉県入間市立東町公民館様 四千三百円
- 埼玉県春日部市中央公民館様 一万五千八百円
- 埼玉県入間市立中央公民館様 四千元
- 利尻郡利尻富士町鬼脇公民館様 六千九百元
- 壮瞥町教育委員会様 一千九百元
- 豊浦町教育委員会様 三千九百元
- 端数を切り捨てさせていただきまして合計で五十三万八千四百一十二円集まりました。
- ありがとうございます。
- 皆様の気持ちを五町・厚真町・安平町・むかわ町・日高町・平取町に十二月七日にお届けしました。
- 公民館の仲間はこれからも地域の中で助け合い、いたわり合い、思いやりを持つ人づくりをしませんか。
- 公民館は地域の方々の安らぎの場であり学びの場でもあります。単なる貸し館ではないので地域が元氣のみなもととして頑張っていきたいと思えます。
- 来年は北海道公民館協会の七十周年になります。
- 第四十一回全国公民館研究集会北海道大会兼第六十三回北海道公民館大会に向け七十周年記念を開催します。先人達が作り上げてきた北海道

の公民館、道のりは、決して楽なものではありませんが、各市町村の皆様方の励みとお力でこんなにちみちみ続ける事ができました。今では全国から熱い期待をされるまでになっております。

記念大会を兼ねますので、大変申し訳ないのですが資料代を千円上げて三千元とさせていただきます。

記念講演にはテレビ等でご存じの方が多くと思いますが、ジャーナリストの池上 彰氏を迎えることが決定しております。様々な今までにない大会を企画しておりますので数多くの皆様の参加をお待ちしております。高校生の参加も百人以上を考慮しております。

今までにない大会と思えます。

公民館がいかにか若者を地域に引きつける役割を果たすべく、地域が元氣になるヒントが引き出せればと、七十年を迎え、平成から引き継いだ新しい年を原点に振り返り歩み出す大会とします。

加賀市町村の皆様の数多い参加をお待ちしています。

また、全国の公民館の仲間の皆様の多数の参加をお待ちしています。

この時期札幌は様々な研修があり、ホテル等は大変混み合っています。ポールスターホテルは五月から受け付けてくれます。パークホテルは公民館協会と言えば早くから受け付けてくれ、料金は割引させていただきます。

道教香通信

☆社会教育の重要性について

過日、中央教育審議会の「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」答申(案)が示されました。

この答申案では、人口減少や高齢化をはじめとする多様な課題の顕在化や、急速な社会経済環境の変化を受け、今後、我が国の地域社会においては、住民主体でこれらの課題や変化に対応することが求められるとともに、地域固有の魅力や特色を改めて見つめ直し、その持続発展に取り組むことが期待されています。こうした中で、地域における社会教育には、一人一人の生涯にわたる学びを支援し、住民相互のつながりの形成を促進することに加え、地域の持続発展を支える取組に資することがより一層期待されています。また、公民館、図書館、博物館等の社会教育施設には、地域活性化やまちづくりの拠点、地域の防災拠点などとしての役割も強く期待されるようになっており、住民参加による課題解決や地域づくりの担い手の育成に向けて、住民の学習と活動を支援する機能を一層強化することが求められています。

さらに、社会教育施設の設置・運営についても、複合的な課題により

効果的に対応するため、社会教育行政担当部局とまちづくり、福祉、健康、産業振興等の他の行政部局、教育機関、NPO、企業等の多様な主体と連携を強化することが欠かせないことなどが示されています。

☆「人づくり」「つながりづくり」による「地域づくり」について

社会教育は、学びを通じて個人の成長を期するとともに、他者との学び合い、認め合うことで相互のつながりを形成していくものであることが特徴といえます。

他者との交流を通じて、新たな気づきや学びへの動機付けが更に進み、より主体的な活動へとつながっていくことも社会教育の強みであると考えられます。特に、今後、人口減少など社会の大きな変化の中にあつて、住民の主体的な参画による持続可能な地域づくりに向けて、社会教育はこれまで以上に役割を果たしていくことができるよう、学びの場において、同様の悩みや類似の関心を持つ方々の助け合い、異なる意見を持つ方々との対話や議論などといった相互学習を通じて、相互に認め合うことによる自己肯定感や幸福感、所属感などが醸成され、住民相互の絆が強まるなどの効果がもたらされ、この絆は地域が直面する様々な課題の解決に向けた住民の主体的な活動を担う「コミュニティの基盤」になると考えています。

☆社会教育主事の配置状況について
グローバル化の進展や人口減少が急速に進む中、人々が安心して暮らし、地域が持続的に発展して行くためには、地域コミュニティの活性化が不可欠であり、地域住民の人間関係づくりを担う、社会教育主事の存在は大きく期待されています。

しかしながら、道内の市町村における平成三十年度の社会教育主事の発令状況は六十八・七%で、前年度に比べ全道的に配置率が低下しています。さらに、教育委員会内に社会教育主事の有資格者は存在しているが発令していない市町村も多くあります。

社会教育主事は、住民の主体的な参画による持続可能な社会づくり、地域づくりに向け、地域の社会教育行政の企画・実施及び専門的技術的な指導助言に当たることを通し、人々の学習活動を支援しており、多くの市町村で配置されるよう期待しています。



お知らせ

☆事業のご案内について

【地域生涯学習活動実践交流セミナー】

日時・場所

平成三十一年二月十四日(木)
十五日(金)

北海道立道民活動センタービル

「かでの2・7」

対象

市町村・市町村教育委員会職員民間団体関係者、生涯学習実践者等

【生涯学習に関する相談・受付中!】

北海道立生涯学習推進センターでは、生涯学習に関する情報を収集・整理し、生涯学習・社会教育に関わる皆様からの相談に対応しています。

職員研修の相談などお気軽にお問い合わせください。

相談内容

講師・指導者/施設の情報/学習・研修会/資格・検定

市町村の社会教育計画策定/調査研究/文献・資料など

場所

道立生涯学習推進センター内
「学びウイング」

お問い合わせは、

北海道立生涯学習センターまで
お願いいたします。



北海道公民館協会設立 70 周年記念

第 41 回 全国公民館研究集会

第 63 回 北海道公民館大会

公民館は北海道の創生を果たせるか ～公民館がひらく日本の未来～



特別講演

池上 彰氏



期日 2019年10月24日(木)
25日(金)

会場 道新ホール
札幌市中央区大通3丁目6



主催

公益社団法人 全国公民館連合会
北海道公民館協会
北海道公民館振興首長会

後援

文部科学省、北海道
北海道教育委員会、北海道市長会
北海道町村会
北海道都市教育委員会連絡協議会
北海道町村教育委員会連合会
北海道生涯学習協会
全国公民館振興市町村長連盟

